

ウイルス学会関連研究集会紹介

2. 第37回中国四国ウイルス研究会

世 良 貴 史

岡山大学 学術研究院ヘルスシステム統合科学学域

第37回中国四国ウイルス研究会を2023年9月2日(土), 3日(日), 岡山大学 津島キャンパス 工学部5号館 第15講義室にて, 開催しました. 約70名の中国四国地方のウイルス研究者が参集し, インフルエンザウイルス, アデノウイルスから植物ウイルスまでの幅広いウイルスについて発表と討議を行いました. 特別講演の講師は, 山口大学大学院創成科学研究科農学系学域の小林淳教授が務めて下さり, 「走馬灯〜バキュロウイルス発現系と歩んだ35年〜」と題し, これまでの研究の歩みをご報告頂きました. 一般講演は39題と盛りだくさんでした.

一日目の全ての講演終了後, 新たな試みとして, ポスター発表会を開催しました. これは, 主に一般演題で優秀発表賞の選考対象として審査を希望の参加者に, 発表で利用したスライドをA4用紙に1枚ずつ打ち出して持参してもらい, ポスターボードに打ち出したスライドを順にテープで貼付し, 発表してもらうものです. その際, 岡山の銘菓や果物, サンドイッチなどの軽食や飲み物(アルコールも少々)を準備したところ, それぞれの研究についての意見交換や, 今後の研究活動の展望を語りあうなど, 参加者同士の交流が深まり, 大変好評でした.

最後に, 今回参加された現幹事の先生方の投票で大学院生・学生の「優秀発表賞」受賞者6名を選出して, 表彰しました. 表彰されたのは, 大亀雄暉さん(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科), 大場裕貴さん(鳥取大学農学部共同獣医学科), 西里美優香さん(山口大学共同獣医学部), 登倉浩貴さん(愛媛大学プロテオサイエンスセンター), 山部靖治さん(岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科), 吉川美有さん(鳥取大学農学部共同獣医学科)です. 受賞者には, 副賞として, 岡山名産のマスカットが贈呈さ

れました.

今回は, 愛媛大学プロテオサイエンスセンターの高橋宏隆准教授を世話役として, 愛媛での開催が予定されています.

支援して頂いた企業様, 参加者の皆さま, 手伝っていたいた方々に深謝致します.

演題プログラム

第1日 9月2日(土)

セッション1

座長: 近藤秀樹(岡山大学), 堺立也(川崎医科大学)

1. HHV6Bのテグメントタンパク質U65に関連する宿主因子の同定

◎李昊堃, 難波ひかる, 小川寛人, 本田知之

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 病原ウイルス学分野

2. Inhibition of HSV-1 Replication by a Pin1 Inhibitor

◎Abeer Elsayed, Takemasa Sakaguchi

Department of Virology, Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University

3. 赤潮原因藻感染性ウイルス HaV がもつ巨大タンパク質 VP492 と感染特異性の関係性に関する研究

◎船岳祐作¹, 森本大地², 廣本春奈¹, 高橋迪子³, 和田啓⁴, 長崎慶三^{1,2}

¹ 高知大学農林海洋科学部, ² 高知大学自然科学系理工学部, ³ 高知大学医学部, ⁴ 宮崎大学医学部

4. プレオマイシンと類自体ゼオシンは, EBV 陽性の胃癌細胞を優先的に死滅させる

◎Aung Phyto Wai, 飯笹久, Yuxin Liu, 岡田俊平, 吉山裕規

島根大学 学術研究院 医学・看護学系 微生物学講座

5. ハリネズミアデノウイルスは多くの哺乳動物に感染する

繁永智里¹, 小泉伊織^{1,2}, 永元哲治³, 山本佑樹³, 早坂大輔¹, ○下田宙¹

連絡先

〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中 3-1-1

岡山大学 学術研究院ヘルスシステム統合科学学域

TEL/FAX: 086-251-8194

E-mail: sera@cc.okayama-u.ac.jp



参加者の集合写真

¹ 山口大学共同獣医学部, ² 福岡県小泉ネスト動物病院,
³ HiLung 株式会社

6. 日本のコウモリにおける多様なウイルスの検出

◎西里美優香¹, 今井麗¹, 胡蔚殷¹, 尾畑美帆¹, 光永早紀¹, 繁永智里¹, 檜山雅人², 村上崇史³, 早坂大輔¹, 下田宙¹

¹ 山口大学共同獣医学部, ² 壱岐市家畜診療所, ³ 美祢市文化財保護課

7. Interferon-stimulated long noncoding RNA のインターフェロン経路における作用機序の解析

◎前川由依, 守山友梨, 小川寛人, 加藤大和, 本田知之
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 病原ウイルス学

セッション2

座長: 飯笹久 (島根大学), 駒貴明 (徳島大学)

8. CRISPR-Cas13b によるボルナ病ウイルス抑制効果の検討

◎佐々木甚徳, 小川寛人, 加藤大和, 本田知之
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 病原ウイルス学分野

9. ボルナ病ウイルス感染時における低分子 RNA の感染抑制効果について

◎廣田直哉, 小川寛人, 加藤大和, 本田知之
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 病原ウイルス学分野

10. Comparing Antiviral Activity between Chlorous Acid Water and Sodium Hypochlorite Water and their Protein Load Resistance

◎Basirat Mojisola Lawal-Ayinde, Takemasa Sakaguchi
Department of Virology, Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University

11. 電離イオンの SARS-CoV-2 不活化効果に、湿度変化と唾液混在が与える影響

◎ Afifah Fatimah Azzahra¹, 小野村大地², 岡田俊平¹, 飯笹久¹, 吉山裕規¹

¹ 島根大学学術研究院 医学・看護学系 微生物学

² 自治医科大学 医学研究科 人間生物学系 生体防御医学 分子ウイルス学

12. SARS-CoV-2 の侵入を増強する ACE2 相互作用タンパク質の同定及び機能解析

◎登倉浩貴¹, 原口真輝¹, 山田航大¹, 西野耕平², 小迫英尊², 澤崎達也¹, 高橋宏隆¹

¹ 愛媛大学プロテオサイエンスセンター

² 徳島大学 先端酵素学研究所 藤井節郎記念医科学センター 細胞情報学分野

13. SARS-CoV-2 のサブゲノム RNA 転写は NSP13 により

制御される

◎ Mst Mahmuda Khatun, 岡田俊平, 宇田川愛美, 飯笹久, 吉山裕規
島根大学 学術研究院 医学・看護学系 微生物学講座

セッション3

座長：金井亨輔（鳥取大学），高橋宏隆（愛媛大学）

14. マールブルグウイルス VP35 蛋白質と相互作用する新規宿主因子の探索

◎大亀雄暉, 執行沙織, 前田唯花, 小川寛人, 加藤大和, 本田知之
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 病原ウイルス学分野

15. EV-A71 の宿主因子の探索

◎白石舜¹, Justin Chu Jang Hann², 澤崎達也¹, 高橋宏隆¹
¹愛媛大学 PROS・無生物生命科学研究科, ²Dept of Microbiology and Immunology, Yong Loo Lin School of Medicine, National University of Singapore

16. 翻訳抑制に基づいた人工 RNA 結合タンパク質のセレクション系の構築と検証

◎天満詩絵奈, 今城美久, 大石竜士, 森友明, 森光一, 世良貴史
岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 生体機能分子設計学分野

17. RNA ウイルス不活性化のための人工 RNA 結合タンパク質のセレクション

◎岡千裕, 大石竜士, 浮田康平, 森友明, 森光一, 世良貴史
岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 生体機能分子設計学分野

18. 人工 RNA 結合タンパク質のデザイン法の開発

◎山部靖治, 門家拓哉, 仲尾太秀, 森友明, 森光一, 世良貴史
岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 生体機能分子設計学分野

19. 新型人工 RNA 切断酵素によるインフルエンザウイルス RNA 切断

◎井置類, 中村祐花, 王野瀬里香, 森友明, 森光一, 世良貴史
岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 生体機能分子設計学分野

セッション4

座長：内藤忠相（川崎医科大学），渡辺俊平（岡山理科大学）

20. ヘンドラウイルス F, G 遺伝子の発現は、遺伝子非翻

訳領域によって調節される

◎金森涼太¹, 藤井ひかる¹, 森川茂¹, Glenn Marsh², 渡辺俊平¹

¹岡山理科大学獣医学部・微生物学, ²Australian Centre for Disease Preparedness, CSIRO

21. イヌジステンパーウイルスの F 蛋白質は、1 アミノ酸変異の導入で膜融合を亢進する

◎村木微香¹, 渡辺俊平¹, 金森涼太¹, 西阪祐希¹, 藤井ひかる¹, 森川茂¹

¹岡山理科大学獣医学部・微生物学

22. 高病原性鳥インフルエンザウイルスに対するバキュロウイルスベクターを用いた鳥類用組換えワクチンの開発

◎吉川美有¹, 笛吹達史^{1,2}, 曾田公輔², 山口剛士^{1,2}

¹鳥取大学農学部共同獣医学科獣医衛生学研究室

²鳥取大学農学部附属鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター

23. ベトナムの家禽から分離された H9 亜型鳥インフルエンザウイルスの遺伝子と抗原性

◎大場裕貴¹, 曾田公輔¹, 三浦こずえ², Trang T.H.Ung², Hang L.K.Nguyen², 伊藤啓史¹, Mai Q.Le., 伊藤壽啓¹

¹鳥取大学農学部共同獣医学科 ²ベトナム国立衛生疫学研究センター (NIHE)

24. 季節性インフルエンザウイルス A ウイルス分離株の増殖能に影響を与える可能性のあるウイルス遺伝子の探索

◎徳元駿, 徳永明乃, 景山誠二, 金井亨輔
鳥取大学医学部 感染制御学講座 ウイルス学分野

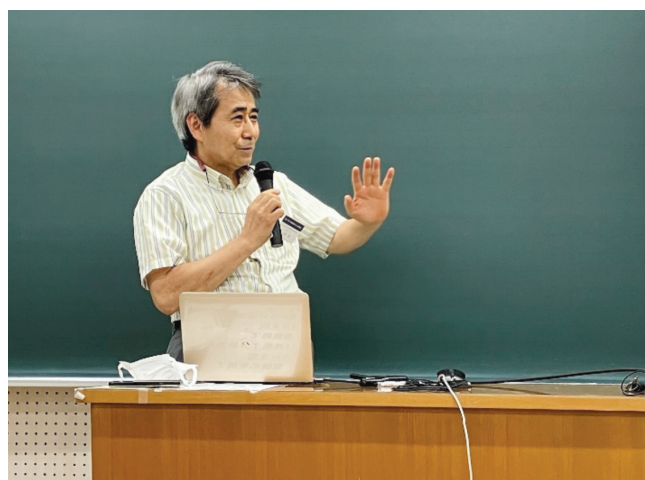
25. シュウ酸, 酢酸, クエン酸のウイルスに対する不活化効果の検討

◎胡蔚殷, 下田宙, 早坂大輔
山口大学大学院共同獣医研究科獣医微生物学教室

26. Development of dried Reverse Transcription-Loop Mediated Isothermal Amplification Assay for rapid detection of Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome Virus in Serum and Plasma Samples

◎ Marla Anggita¹, Hayashida Kyoko², Nishizato Miyuka³, Shimoda Hiroshi¹, Hayasaka Daisuke¹

¹Laboratory of Microbiology, Joint Graduate School of Veterinary Medicine, Yamaguchi University, ²International Institute for Zoonosis Control, Division of Collaboration and Education, Hokkaido University, ³Laboratory of Microbiology, Joint Faculty of Veterinary Medicine, Yamaguchi University



小林淳教授による特別講演

特別講演

座長：鈴木信弘（岡山大学）

走馬灯～バキュロウイルス発現系と歩んだ35年～

山口大学大学院創成科学研究科農学系学域 小林淳教授

ポスター発表

第2日 9月3日（日）

セッション5

座長：笛吹達史（鳥取大学）、曾田公輔（鳥取大学）

27. 赤潮原因藻ヘテロシグマ・アカシオのウイルス抵抗性に関する研究

○森本大地¹，船岳祐作²，廣本春奈²，高橋迪子³，和田啓⁴，長崎慶三^{1,2}

¹高知大学自然科学系理工学部門，²高知大学農林海洋科学部，³高知大学医学部，⁴宮崎大学医学部

28. バクテリオファージ KHP30 の感染能に及ぼすピロリ菌の制限修飾系

○高橋迪子¹，柴垣里佳子¹，前田広道¹，瀬尾智¹，松崎茂展²

¹高知大学医学部，²高知学園大学健康科学部

29. 一卵性双生児のトランスクリプトーム解析

○加藤 大和，小川 寛人，本田 知之

岡山大学大学院 医歯薬学域 病原ウイルス学

30. Examination of the potential impact of mycoviruses on the mushroom pathogenic fungus *Lecanicillium fungicola*

○Lóránt Hatvani^{1,2}，Hideki Kondo²，Helen Grogan¹，Nobuhiro Suzuki²

¹Horticulture Development Department, Teagasc, Ashtown, Ireland, ²Institute of Plant Science and Resources, Okayama University, Kurashiki, Japan

31. コウモリ培養細胞における内在性フィロウイルス様配列の機能解析

○小川寛人，加藤大和，本田知之

岡山大学学術研究院 医歯薬学域 病原ウイルス学分野

32. 人工 RNA 切断酵素を用いた動物細胞内でのインフルエンザウイルスの RNA 複製阻害

○森友明，森光一，世良貴史

岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 生体機能分子設計学分野

セッション6

座長：金井亨輔（鳥取大学），森友明（岡山大学）

33. リアルタイム PCR 法による高病原性鳥インフルエンザ発生農場環境検体からのウイルス遺伝子の検出

久田梨乃，○曾田公輔，岡和奈，伊藤啓史，笛吹達史，山口剛士，伊藤壽啓

鳥取大学農学部共同獣医学科

34. 高増殖能の季節性ヒトインフルエンザウイルス株はマウスの気管支肺胞に強い炎症を引き起こす

○徳永朱乃，徳元駿，景山誠二，金井亨輔

鳥取大学 医学部 感染制御学講座 ウイルス学分野

35. インフルエンザウイルス mRNA の核外輸送

○三浦未知，齊藤峰輝

川崎医科大学 微生物学教室



優秀発表者との記念写真

（左端は代表幹事景山誠二教授，右端は著者）

36. 鳥インフルエンザウイルスの運動のシアロ糖鎖依存性
○堺立也¹, 伊藤啓史², 伊藤壽啓², 迫田義博³, 喜田宏⁴,
齊藤峰輝¹

¹ 川崎医科大学微生物学教室, ² 鳥取大学農学部共同獣医
学科, ³ 北海道大学獣医学研究院病原制御学分野, ⁴ 北海
道大学人獣共通感染症国際共同研究

37. 遺伝的安定性に優れた弱毒生インフルエンザワクチン
の開発

○内藤忠相, 後川潤, 齊藤峰輝
川崎医科大学 微生物学教室

38. インフルエンザが再流行した要因の究明と HA ワクチ
ン改良方法の実験的検証

○後川潤, 内藤忠相, 齊藤峰輝
川崎医科大学 微生物学教室

39. ニパウイルス表面糖蛋白質を発現する組換え痘瘡ワク
チンのハムスターへの投与は, ニパウイルス中和抗体
を誘導する

○渡辺俊平^{1,2}, 吉河智城², 加来義浩³, 黒須剛², 福士秀
悦², 杉元聡子², 西阪祐希¹, 藤井ひかる¹, 前田健³, 海
老原秀喜², 森川茂¹, 下島昌幸², 西條政幸^{2,4}

¹ 岡山理科大学 獣医学部 微生物, ² 国立感染症研究所 ウ
イルス第一部, ³ 国立感染症研究所 獣医科学部, ⁴ 札幌
市保健福祉局・保健所

本稿に関連し, 開示すべき利益相反状態にある企業等は
ありません.

